

新司法試験における問題数及び点数等について

平成 17 年 11 月 8 日司法試験委員会決定

第 1 短答式試験の問題数及び点数

1 公法系科目

40 問程度とし、100 点満点とする。

2 民事系科目

75 問程度とし、150 点満点とする。

3 刑事系科目

40 問ないし 50 問程度とし、100 点満点とする。

第 2 論文式試験

1 問題数

各科目いずれも問題数を 2 問とする。

2 問題別配点等

公法系科目及び刑事系科目については、各科目それぞれ、問題 1 問につき 100 点配点の計 200 点満点とする。

民事系科目については、200 点配点の問題 1 問と、100 点配点の問題 1 問の計 300 点満点とする。

選択科目については、いずれの科目についても、2 問で計 100 点満点とする。